

## 田浦青少年自然の家

### 管理運営業務の内容及び基準(仕様書)

#### 1 施設の概要

##### (1) 設置目的

横須賀市立田浦青少年自然の家は、キャンプ・野外活動を通じた青少年の健全な育成を図る施設として、「青少年の家条例」により設置した地方自治法に規定する公の施設である。

##### (2) 設置場所及び建物構造等

- ① 設置場所 横須賀市田浦大作町 33 番地 1  
JR横須賀線 田浦駅 徒歩30分
- ② 建物構造 木造平家建
- ③ 敷地面積 9,900㎡
- ④ 延床面積 381.86㎡
- ⑤ 平面図 別添図面のとおり

##### (3) 施設の内容

テントサイト、炊事場、雨天避難棟(集会棟)、キャンプファイヤー場、野外卓管理棟、トイレ

##### (4) 開館日等

- ① 開館日 4月1日から7月15日までは月曜日を除く日  
7月16日から8月31日までは毎日  
9月1日から翌年3月15日までは土・日・祝日  
(月曜日及び12月29日から翌年1月3日までを除く日)  
3月16日から3月31日までは月曜日を除く日  
\* 上記の規定にかかわらず、月曜日(休館日)が国民の祝日に当たるときは開館し、翌日(火曜日)を休館日とする。ただし、翌日も国民の祝日の場合は直近の平日(土・日・祝日を除く日)を休館日とする
- ② 開館時間 日帰り使用 午前10時から午後4時まで  
宿泊使用 午後1時から翌日午前11時まで  
(2泊のときは翌々日の午前11時まで)

#### 2 委託業務の主な内容

##### (1) 施設管理業務

- ① 施設使用の指導及び監督
- ② 施設及び敷地内の整備
- ③ 施設及び敷地内の清掃及び保守

- ④ 施設及び付属設備の保守管理、小規模修繕
- ⑤ 備品の管理及び用具の点検、小規模修繕
- (2) 運営業務
  - ① 使用の許可に関する事。
  - ② 使用料の収納に関する事。
  - ③ 使用者及び青少年会館との連絡調整(窓口の主となる職員を明確にすること。)
  - ④ 利用統計資料の作成(利用人数、利用料金、その他市が必要と認めたもの。)

### 3 運営体制

- (1) 青少年自然の家の運営管理業務を遂行するにあたり、十分な能力を持つ職員を確保すること。
- (2) 設備、備品等の管理、来館者の応対等、青少年自然の家の円滑な管理運営に支障のない組織体制を整えること。
- (3) 職員の育成及び運営に必要な研修を実施すること。
- (4) 常時1名以上の職員を配置すること。
- (5) 労働基準法等関係法令を遵守すること。

### 4 その他

- (1) 省エネルギーに対する取り組み
  - ① 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)の改正(平成22年4月施行)に基づき、施設におけるエネルギー使用料について測定・記録し、市へ報告すること。
  - ② 施設内に張り紙をするなど、施設利用者に対して、できる限り電気等の利用を削減することなどの周知及び啓発に努めるとともに、指定管理者自らの事務を行ううえで、電力等の使用量を削減するための必要な措置をできる限り講じるよう努めること。
- (2) 災害の対応

気象警報発令時等または気象警報の発令の恐れがある場合の警戒配備体制の設置及び被害状況報告と応急措置を行うこと。

災害が発生し、市が施設をその対策のために使用することを決定した場合は、市の指示に従い当該災害等の対策に関する業務に協力すること。
- (3) みどり(樹木等)に関する配慮・報告
  - ① ガイドラインの運用について

樹木等のみどりを良好な状態に保つため、本市が策定した「公共施設の緑化及びみどりの育成に配慮した維持管理ガイドライン」に基づいて、樹木等の

適切な育成管理に努めること。

② ガイドラインに基づく報告について

同ガイドライン「配慮指針編」に規定された市への報告を適切に行うとともに、市からのアドバイス及び調整事項があった場合は、可能な限り、その趣旨に沿った対応をとること。

(4) 薪の提供について

利用者が炊事等に使用する薪は、田浦梅の里の樹木管理の間伐材などを活用し指定管理者が準備し、利用者に提供すること。

(5) 自主事業について

① 業務上の位置づけ

施設の設置目的に合致し、かつ業務の実施を妨げない範囲において、指定管理者の責任と費用により、実施するものとする。

自主事業の有無については指定管理者に一任するが、継承の森等を活用した施設の魅力づくりの一環として、積極的な提案を期待する。

② 実施の承認

あらかじめ市の承認を受けた事業のみ、実施可能となる。申請時の事業計画書で提案した事業についても、あらためて実施年度当初に、所定の自主事業計画書を提出し、市の承認を受けるものとする。

③ 収入の取り扱い

ア 利用料を徴収する場合には、他公園等の類似施設や類似サービスの一般的金額等と比較のうえ、適切な価格を考慮すること。

イ 自主事業を通じて得られた収入については、指定管理者の収入とする。なお、余剰金を施設管理経費に充当することを提案することも可能。

ウ 実施年度当初の自主事業計画書の提出時には、自主事業にかかる収入見込み額を記載すること。

エ サービス向上や管理経費削減についての提案に該当する趣旨がある場合は、事業計画書の所定の場所にも記載すること。

オ 自主事業に係る収支は、施設管理業務や管理許可施設の収支とは区別した管理を行うこと。

④ 実施報告

自主事業実施後は、所定の自主事業報告書を市に提出すること。また、収支の予算および決算については、施設管理全体の収支と併せて、市に報告すること(合算不可)。

(6) 電気・ガス・水道の契約について

電気・ガス・水道の契約について、契約者が市となっている場合に契約者を指定管理者に変更するときは、契約内容も含めて別途協議すること。

(7) 通信回線の契約について

サービス終了等による通信回線廃止については、必要に応じて指定管理者が新規契約手続きをすること。なお、初期費用及び加入費用についても負担すること。

(8) 施設廃止後の管理について

令和5年3月 31 日をもって、田浦青少年自然の家は廃止となるが、跡地については引き続き、田浦梅の里の一部として管理をしていくこと。

(9) 協議

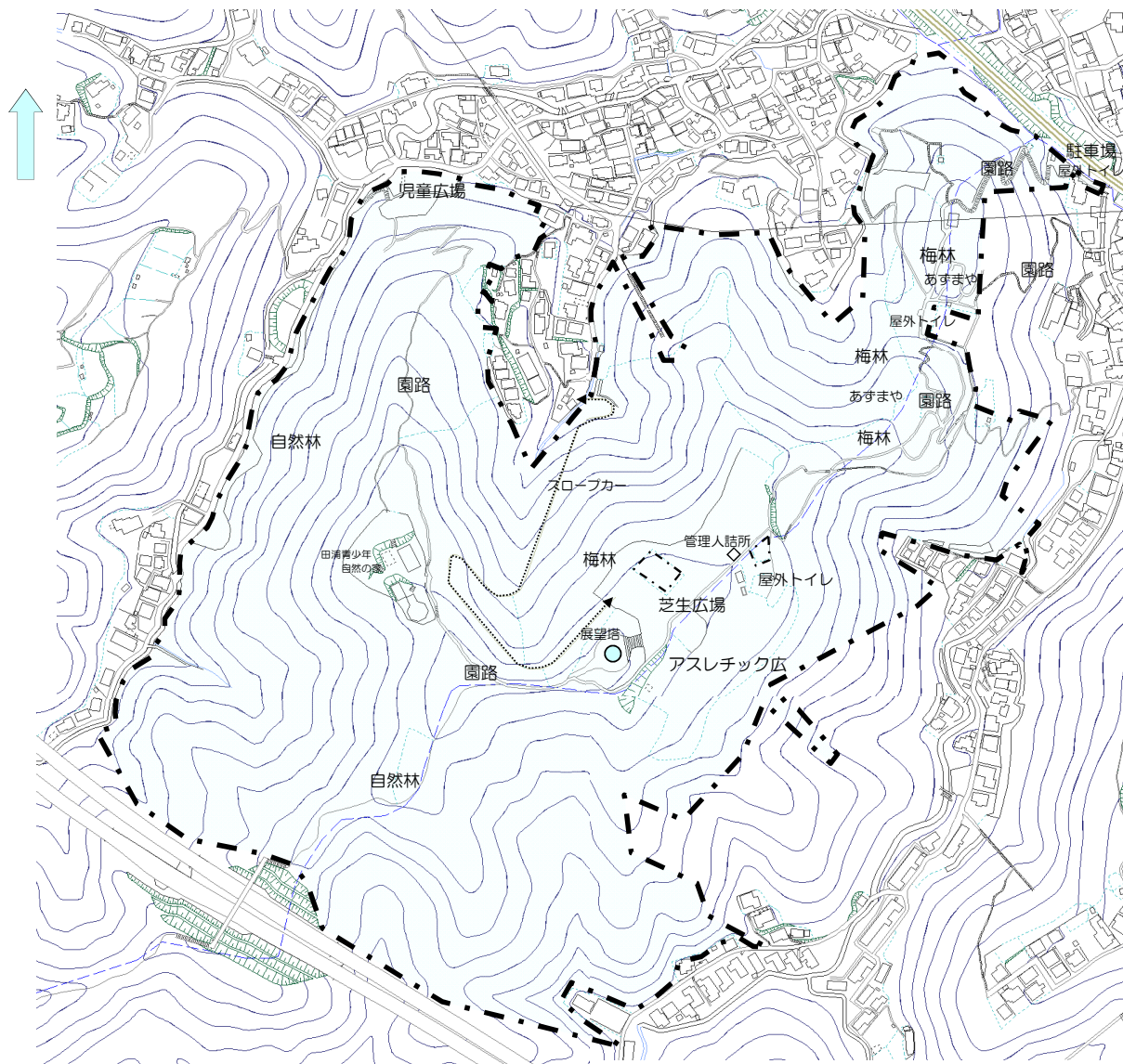
本仕様書に定めのない事項及び、本仕様書に関する疑義が生じた場合は、市と協議の上、対応すること。

公 園 名

田浦梅の里・田浦青少年自然の家

図 面 種 別

平 面 図



凡例

